

【日の出入り・月の出入り表】

2018年 4月

提供：国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備考
	時:分	時:分	度	時:分	時:分	時:分		
1	6:10	12:25	61.3	18:41	19:28	6:43	14.6	初旬に火星と土星が大接近 水星が内合※1
2	6:08	12:24	61.7	18:42	20:28	7:18	15.6	火星と土星が最接近
3	6:07	12:24	62.1	18:43	21:27	7:54	16.6	月と木星が接近
4	6:06	12:24	62.5	18:43	22:24	8:32	17.6	
5	6:04	12:23	62.8	18:44	23:20	9:11	18.6	清明※2
6	6:03	12:23	63.2	18:45	--:--	9:54	19.6	
7	6:02	12:23	63.6	18:45	0:12	10:39	20.6	
8	6:00	12:23	64.0	18:46	1:02	11:27	21.6	下弦 月と火星、土星が接近
9	5:59	12:22	64.4	18:47	1:48	12:18	22.6	
10	5:58	12:22	64.7	18:48	2:31	13:11	23.6	
11	5:57	12:22	65.1	18:48	3:11	14:05	24.6	
12	5:55	12:22	65.5	18:49	3:48	15:02	25.6	
13	5:54	12:21	65.8	18:50	4:24	15:59	26.6	
14	5:53	12:21	66.2	18:51	4:58	16:58	27.6	水星が留※3
15	5:52	12:21	66.5	18:51	5:33	17:59	28.6	
16	5:51	12:21	66.9	18:52	6:08	19:01	0.0	新月
17	5:49	12:20	67.3	18:53	6:46	20:05	1.0	
18	5:48	12:20	67.6	18:54	7:26	21:10	2.0	土星が留※3 夕方月と金星が接近
19	5:47	12:20	68.0	18:54	8:12	22:16	3.0	天王星が合※4
20	5:46	12:20	68.3	18:55	9:02	23:20	4.0	穀雨※5
21	5:45	12:19	68.6	18:56	9:57	--:--	5.0	
22	5:43	12:19	69.0	18:57	10:58	0:20	6.0	
23	5:42	12:19	69.3	18:57	12:01	1:15	7.0	上弦 4月ごと座流星群が極大
24	5:41	12:19	69.6	18:58	13:05	2:04	8.0	
25	5:40	12:19	70.0	18:59	14:09	2:48	9.0	金星とプレアデス星団が接近
26	5:39	12:19	70.3	18:59	15:13	3:29	10.0	
27	5:38	12:18	70.6	19:00	16:15	4:06	11.0	
28	5:37	12:18	70.9	19:01	17:16	4:41	12.0	
29	5:36	12:18	71.2	19:02	18:16	5:16	13.0	昭和の日
30	5:35	12:18	71.6	19:02	19:15	5:51	14.0	満月 水星が西方最大離角※6

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しております。

※1 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり、「衝」の時最も近くなります。内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※2 清明:二十四節季の一つ。意味:すべてのものが生き生きとして、清らかに見える。

※3 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動していくように見えますが、時に東から西へ移動することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。

※4 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり、「衝」の時最も近くなります。内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※5 穀雨:二十四節季の一つ。意味:穀物を潤す春雨が降る。

※6 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。